

# 2017年3月期第2四半期決算の概要

東レ株式会社  
2016年11月8日

# 目次

---

## I. 2017年3月期第2四半期決算の概要

2017年3月期第2四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間)	(P17)
主要子会社収益状況(第2四半期累計期間)	(P18)
セグメント別営業利益 1Qvs2Q比較	(P19)

## II. 2017年3月期連結業績見通し

2017年3月期連結業績見通し	(P21)
セグメント別業績見通し	(P22)
セグメント別営業利益の前回見通しとの差異	(P23)
設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し	(P24)

# I . 2017年3月期第2四半期決算の概要

# 2017年3月期第2四半期連結損益概要

	16年3月期 第2四半期 (7~9月)			17年3月期 第2四半期 (7~9月)			16年3月期 第2四半期累計 (4~9月)			17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		
			増減			増減			増減			増減
売上高	5,317	4,789	-528 (-9.9%)	10,286	9,570	-716 (-7.0%)						
売上原価	4,217	3,753	-464 (-11.0%)	8,112	7,437	-675 (-8.3%)						
売上総利益	1,100	1,036	-64 (-5.8%)	2,174	2,133	-41 (-1.9%)						
(売上高総利益率)	20.7%	21.6%	+0.9 ポイント	21.1%	22.3%	+1.1 ポイント						
販売費及一般管理費	719	683	-36 (-5.0%)	1,422	1,370	-53 (-3.7%)						
(売上高販管費比率)	13.5%	14.3%	+0.7 ポイント	13.8%	14.3%	+0.5 ポイント						
営業利益	381	353	-28 (-7.4%)	751	763	+11 (+1.5%)						
(売上高営業利益率)	7.2%	7.4%	+0.2 ポイント	7.3%	8.0%	+0.7 ポイント						
営業外収支	▲ 12	▲ 10	+2	4	▲ 2	-6						
経常利益	369	343	-26 (-7.2%)	755	761	+6 (+0.8%)						
特別損益	▲ 24	▲ 10	+14	▲ 28	▲ 13	+16						
税前利益	345	333	-12 (-3.6%)	727	748	+21 (+3.0%)						
親会社株主に帰属する 四半期純利益	233	237	+5 (+1.9%)	494	534	+40 (+8.0%)						

億円

		(16/3 2Q) → (17/3 2Q)	(16/3 2Q累計) → (17/3 2Q累計)
為替レート <円/US\$>	期中平均	: 122.2 → 102.4	121.8 → 105.3
	期末	: 120.0 → 101.1	
<円/ユーロ>	期中平均	: 136.0 → 114.3	135.1 → 118.1
	期末	: 135.0 → 113.4	

# 営業外収支

億円

	16年3月期 第2四半期 (7~9月)	17年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	16年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業外収益	41	38	-3	93	96	+3
受取利息及び配当金	7	6	-1	28	26	-2
持分法による投資利益	18	21	+3	34	43	+9
雑収入	15	11	-5	31	27	-4
営業外費用	▲ 52	▲ 48	+5	▲ 89	▲ 98	-8
支払利息	▲ 14	▲ 11	+3	▲ 30	▲ 23	+7
休止設備関連費用	▲ 13	▲ 11	+2	▲ 20	▲ 21	-1
雑損失	▲ 25	▲ 26	-1	▲ 40	▲ 54	-13
営業外収支	▲ 12	▲ 10	+2	4	▲ 2	-6
金融収支	▲ 7	▲ 5	+2	▲ 2	3	+4

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 特別損益

億円

	16年3月期 第2四半期 (7~9月)	17年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	16年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
特別利益	4	4	+0	8	12	+3
有形固定資産売却益	2	1	-1	3	9	+6
投資有価証券売却益	2	3	+1	5	3	-3
その他	-	0	0	1	0	-0
特別損失	▲ 28	▲ 14	+14	▲ 37	▲ 24	+12
有形固定資産処分損	▲ 10	▲ 12	-2	▲ 19	▲ 20	-2
投資有価証券評価損	▲ 18	-	+18	▲ 18	-	+18
その他	▲ 0	▲ 2	-2	▲ 0	▲ 4	-4
ネット特別損益	▲ 24	▲ 10	+14	▲ 28	▲ 13	+16

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	16年3月末	16年9月末	増減
資産合計	22,784	22,095	-689
流動資産	10,096	10,023	-72
有形固定資産	8,306	7,940	-367
無形固定資産	872	783	-88
投資その他	3,511	3,349	-161
負債合計	12,535	12,269	-266
流動負債	5,713	6,099	+385
固定負債	6,821	6,170	-651
純資産合計	10,249	9,826	-423
自己資本	9,456	9,062	-393
自己資本比率	41.5%	41.0%	-0.5 ポイント
有利子負債残高	7,043	6,991	-52
D/Eレシオ	0.74	0.77	+0.03

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

億円

	16年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業活動	617	767	+150
投資活動	▲667	▲645	+22
フリー・キャッシュ・フロー	▲50	122	+172

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	16年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	特記事項
設備投資額	491	589	+98	東レ:103、連結子会社:487
減価償却費 ー)	441	406	-35	東レ:135、連結子会社:271
振替・除却等	▲ 279	▲ 550	-271	
有形固定資産増減	▲ 229	▲ 367	-137	
研究開発費	287	286	-2	

## 主な設備投資:

Toray Carbon Fibers America, Inc.: 炭素繊維“トレカ®”プリプレグー貫設備

Toray Battery Separator Film Korea Limited: ポリエチレンフィルム“セティーラ®”設備

Toray Advanced Materials Korea Inc.: PPS樹脂“トレリナ®”設備



# セグメント別売上高・営業利益

億円

	売上高			営業利益		
	16年3月期 第2四半期 (7~9月)	17年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	16年3月期 第2四半期 (7~9月)	17年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減
繊維	2,279	2,025	-254 (-11.1%)	180	168	-12 (-6.5%)
プラスチック・ケミカル	1,335	1,168	-167 (-12.5%)	81	74	-7 (-8.1%)
情報通信材料・機器	615	627	+13 (+2.1%)	62	75	+13 (+21.5%)
炭素繊維複合材料	450	368	-82 (-18.3%)	77	63	-14 (-18.2%)
環境・エンジニアリング	456	427	-28 (-6.2%)	16	21	+5 (+28.3%)
ライフサイエンス	145	134	-11 (-7.6%)	8	5	-3 (-35.7%)
その他	39	40	+1 (+3.0%)	4	4	-0 (-8.7%)
計	5,317	4,789	-528 (-9.9%)	428	411	-17 (-4.1%)
調整額				▲ 47	▲ 58	-11
連結	5,317	4,789	-528 (-9.9%)	381	353	-28 (-7.4%)

	売上高			営業利益		
	16年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	16年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
繊維	4,358	4,002	-357 (-8.2%)	350	346	-4 (-1.2%)
プラスチック・ケミカル	2,572	2,367	-205 (-8.0%)	157	159	+3 (+1.7%)
情報通信材料・機器	1,250	1,286	+36 (+2.9%)	120	159	+39 (+32.8%)
炭素繊維複合材料	943	806	-138 (-14.6%)	186	160	-25 (-13.7%)
環境・エンジニアリング	826	786	-41 (-4.9%)	16	33	+17 (+102.9%)
ライフサイエンス	264	252	-12 (-4.4%)	6	7	+1 (+18.4%)
その他	72	72	-0 (-0.3%)	5	3	-2 (-42.9%)
計	10,286	9,570	-716 (-7.0%)	840	868	+28 (+3.3%)
調整額				▲ 89	▲ 105	-16
連結	10,286	9,570	-716 (-7.0%)	751	763	+11 (+1.5%)

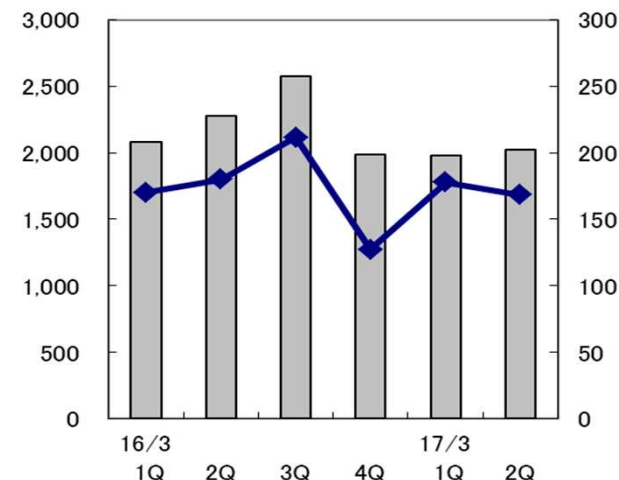
# セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		16年 3月期	17年 3月期	増減	16年 3月期	17年 3月期	増減
売上高	東レ	499	448	-51 (-10.3%)	980	898	-82 (-8.3%)
	国内	1,140	1,033	-107 (-9.4%)	2,081	1,962	-119 (-5.7%)
	海外	1,439	1,217	-223 (-15.5%)	2,823	2,466	-357 (-12.6%)
	修正	▲ 800	▲ 672	+127	▲ 1,525	▲ 1,324	+201
	計	2,279	2,025	-254 (-11.1%)	4,358	4,002	-357 (-8.2%)
営業利益	東レ	47	49	+1 (+3.0%)	95	106	+11 (+11.6%)
	国内	35	35	+0 (+0.3%)	54	51	-3 (-5.3%)
	海外	115	91	-24 (-20.7%)	235	208	-27 (-11.6%)
	修正	▲ 17	▲ 6	+11	▲ 33	▲ 18	+15
	計	180	168	-12 (-6.5%)	350	346	-4 (-1.2%)

売上高  
＜棒グラフ＞

営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)



## 2Q (7~9月)

国内では、需要が総じて低調に推移する中、全般的に拡販に努めるとともに、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化や原価改善を進めることで採算の改善に注力。  
海外では、自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移したが、衣料用途を中心に、欧州や中国などにおける需要低迷の影響を受けた。また、円高による海外子会社業績の邦貨換算差の影響を受けた。

## 2Q累計 (4~9月)

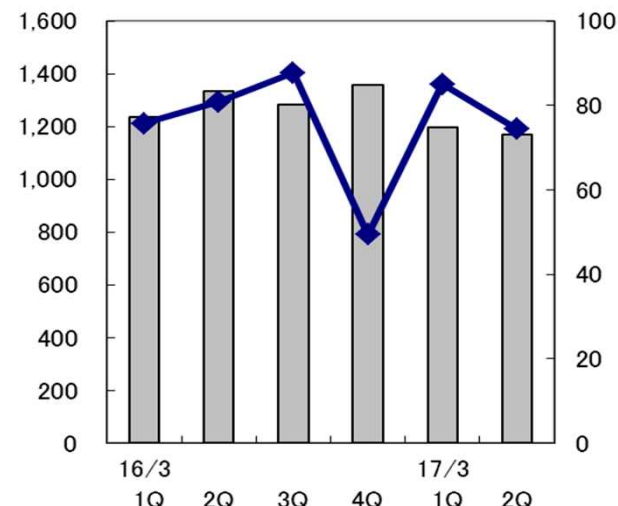
国内では、衣料用途・産業用途とも需要が引き続き低調に推移する中で、全般的に拡販に努めるとともに、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化や原価改善を進めることで採算の改善に注力。  
海外では、衣料用途を中心に、欧州や中国などにおける需要低迷の影響を受け出荷が弱含みで推移。一方、自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。

# セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		16年 3月期	17年 3月期	増減	16年 3月期	17年 3月期	増減
売上高	東レ	305	291	-14 (-4.7%)	627	580	-48 (-7.6%)
	国内	990	888	-103 (-10.4%)	1,887	1,786	-101 (-5.4%)
	海外	927	764	-164 (-17.7%)	1,870	1,585	-284 (-15.2%)
	修正	▲ 888	▲ 774	+114	▲ 1,813	▲ 1,584	+229
	計	1,335	1,168	-167 (-12.5%)	2,572	2,367	-205 (-8.0%)
営業利益	東レ	11	7	-3 (-32.6%)	26	22	-4 (-15.6%)
	国内	18	21	+3 (+18.5%)	37	40	+3 (+9.0%)
	海外	53	46	-6 (-12.3%)	95	98	+3 (+3.1%)
	修正	▲ 0	0	+0	▲ 1	▲ 0	+1
	計	81	74	-7 (-8.1%)	157	159	+3 (+1.7%)

売上高  
<棒グラフ>



営業利益  
<線グラフ>  
(億円)

2Q  
(7~9月)

樹脂事業は、国内外で自動車用途向けの出荷が堅調に推移。一方で、ABS樹脂は、市況悪化による影響を受けた。フィルム事業は、海外では欧米を中心に需要低調も、国内では包装用途向けが堅調に推移。ケミカル事業は、一部の製品で、円高や市況悪化の影響から販売価格が下落。

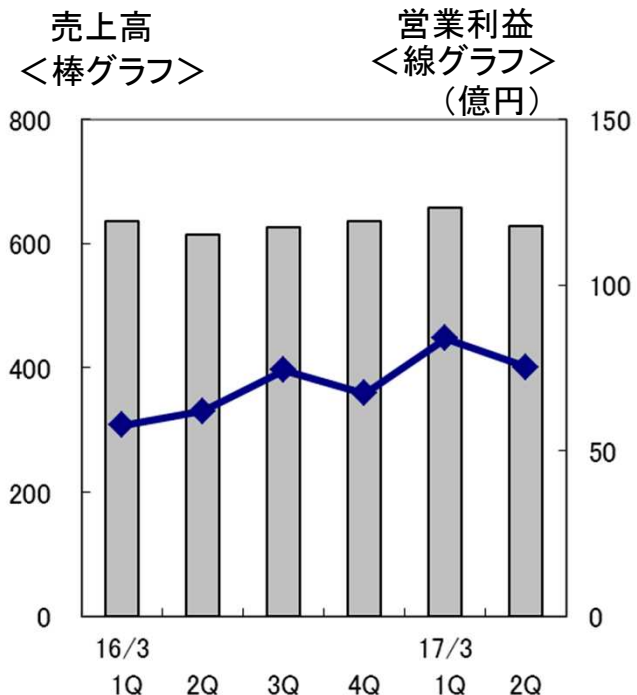
2Q累計  
(4~9月)

樹脂事業は、日本や米国での自動車生産台数増加を背景に、国内外で関連用途向けの出荷が概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂などの拡販を推進。フィルム事業は、海外では欧米を中心に需要低調も、国内では包装用途向けが堅調。また、国内外で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。一部のケミカル製品は、円高や市況悪化の影響から販売価格が下落。

# セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		16年 3月期	17年 3月期	増減	16年 3月期	17年 3月期	増減
売上高	東レ	218	229	+11 (+5.0%)	428	444	+17 (+3.9%)
	国内	247	281	+34 (+13.8%)	484	584	+101 (+20.8%)
	海外	258	225	-33 (-12.8%)	544	465	-79 (-14.6%)
	修正	▲ 109	▲ 108	+1	▲ 206	▲ 208	-2
	計	615	627	+13 (+2.1%)	1,250	1,286	+36 (+2.9%)
営業利益	東レ	17	30	+13 (+76.0%)	24	51	+27 (+108.9%)
	国内	21	27	+6 (+30.2%)	37	59	+21 (+56.6%)
	海外	31	26	-5 (-15.1%)	72	63	-9 (-12.4%)
	修正	▲ 7	▲ 8	-1	▲ 14	▲ 14	+1
	計	62	75	+13 (+21.5%)	120	159	+39 (+32.8%)



2Q  
(7~9月)

フラットパネルディスプレイ向けでは、スマートフォンやタブレット端末の関連材料は、有機EL用途向けの出荷が拡大するなど、堅調に推移。リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムは需要の伸長を背景に出荷が拡大した他、液晶カラーフィルター製造装置等が堅調。回路材料は低調に推移。

2Q累計  
(4~9月)

フラットパネルディスプレイ向けでは、スマートフォンやタブレット端末の関連材料は、有機EL用途向けの出荷が拡大するなど、堅調に推移。リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムは、需要の伸長を背景に、出荷が拡大。また、国内子会社の液晶カラーフィルター製造装置等が堅調。

# 情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

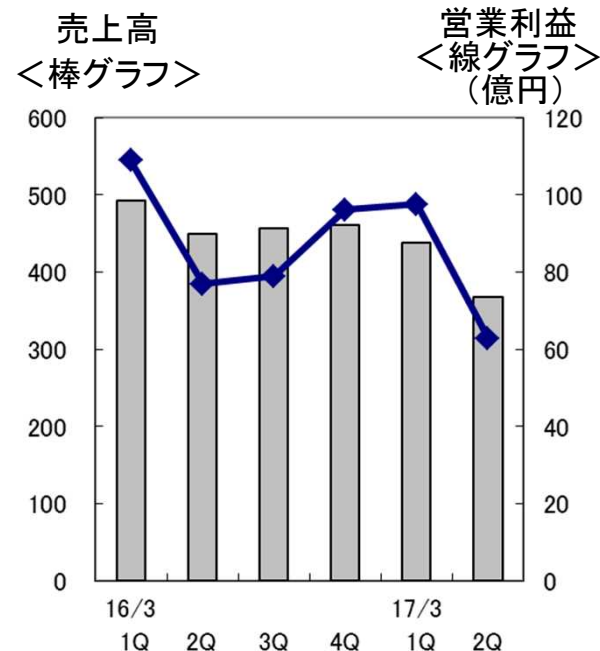
	16年3月期第2四半期 (7～9月)		17年3月期第2四半期 (7～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	177	29%	183	29%	+3%
電子部品・半導体・回路材料	306	50%	293	47%	-4%
記録材料	77	13%	68	11%	-12%
機器他	54	9%	84	13%	+55%
合計	615		627		+2%

	16年3月期第2四半期 累計 (4～9月)		17年3月期第2四半期 累計 (4～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	359	29%	352	27%	-2%
電子部品・半導体・回路材料	637	51%	605	47%	-5%
記録材料	156	12%	136	11%	-13%
機器他	98	8%	194	15%	+98%
合計	1,250		1,286		+3%

# セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		16年 3月期	17年 3月期	増減	16年 3月期	17年 3月期	増減
売上高	東レ	261	253	-8 (-3.0%)	532	526	-6 (-1.0%)
	国内	199	159	-40 (-20.1%)	398	349	-49 (-12.3%)
	海外	401	315	-86 (-21.5%)	841	689	-153 (-18.1%)
	修正	▲ 411	▲ 359	+52	▲ 828	▲ 759	+70
	計	450	368	-82 (-18.3%)	943	806	-138 (-14.6%)
営業利益	東レ	48	33	-15 (-31.3%)	109	75	-34 (-31.0%)
	国内	3	3	+1 (+23.7%)	5	7	+1 (+22.7%)
	海外	43	40	-4 (-9.0%)	93	92	-1 (-0.9%)
	修正	▲ 17	▲ 13	+4	▲ 22	▲ 14	+8
	計	77	63	-14 (-18.2%)	186	160	-25 (-13.7%)



2Q  
(7~9月)

航空機の最終需要は堅調に推移したが、サプライチェーンにおける在庫調整などを反映して、炭素繊維中間加工品(プリプレグ)の需要は弱含みで推移。風車用途は、旺盛な需要を背景に、順調に出荷を拡大。一方、圧縮天然ガスタンク向けは、原油価格下落の影響を受けて、需要が低調に推移。全体として、円高による輸出品の手取り額の減少や海外子会社業績の邦貨換算差の影響があった。

2Q累計  
(4~9月)

航空機の最終需要は堅調に推移したが、サプライチェーンにおける在庫調整などを反映して、炭素繊維中間加工品(プリプレグ)の需要は弱含みで推移。圧縮天然ガスタンク向けでは、原油価格下落の影響を受けて、需要が低調に推移。一方、風車用途は、旺盛な需要を背景に、順調に出荷を拡大。

# 炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

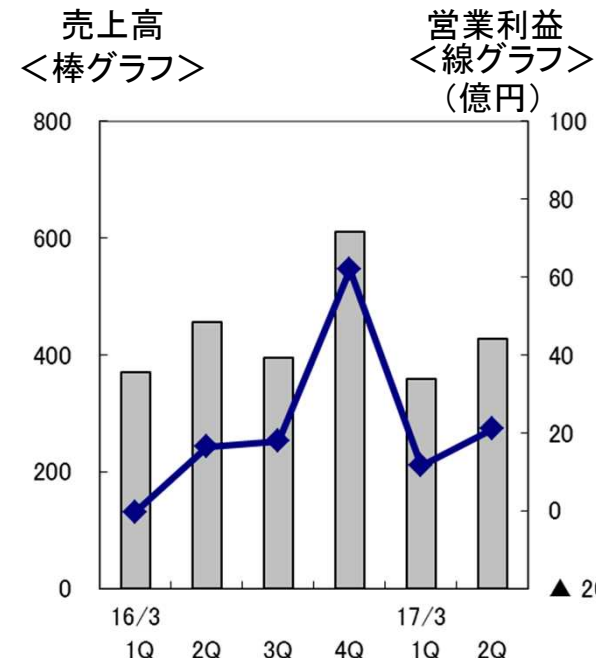
	16年3月期第2四半期 (7～9月)		17年3月期第2四半期 (7～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	225	50%	167	45%	-26%
スポーツ	42	9%	33	9%	-21%
一般産業	183	41%	167	46%	-8%
合計	450		368		-18%

	16年3月期第2四半期累計 (4～9月)		17年3月期第2四半期累計 (4～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	481	51%	373	46%	-22%
スポーツ	86	9%	68	8%	-22%
一般産業	376	40%	365	45%	-3%
合計	943		806		-15%

# セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		16年 3月期	17年 3月期	増減	16年 3月期	17年 3月期	増減
売上高	東レ	55	59	+3 (+5.5%)	102	102	+0 (+0.1%)
	国内	522	543	+21 (+4.0%)	912	967	+56 (+6.1%)
	海外	64	62	-2 (-2.4%)	137	129	-8 (-5.9%)
	修正	▲ 186	▲ 237	-50	▲ 323	▲ 412	-89
	計	456	427	-28 (-6.2%)	826	786	-41 (-4.9%)
営業利益	東レ	5	3	-2 (-41.7%)	7	0	-7 (-98.2%)
	国内	5	15	+10 (+187.0%)	▲ 5	21	+26 (-)
	海外	8	7	-1 (-13.3%)	17	16	-2 (-9.4%)
	修正	▲ 2	▲ 4	-2	▲ 3	▲ 4	-1
	計	16	21	+5 (+28.3%)	16	33	+17 (+102.9%)



**2Q  
(7~9月)**

水処理事業は、逆浸透膜などの日本からの輸出が円高進行の影響を受けた。海外子会社の業績は概ね堅調に推移。

国内子会社では、エンジニアリング子会社のプラント工事が増加。

**2Q累計  
(4~9月)**

水処理事業は、逆浸透膜などの拡販を進めたが、日本からの輸出は円高進行の影響を受けた。海外子会社の業績は概ね堅調に推移。

国内子会社では、エンジニアリング子会社の産業機器が堅調に推移。一方、海外景気減速の影響から一部商社の取扱高が減少。

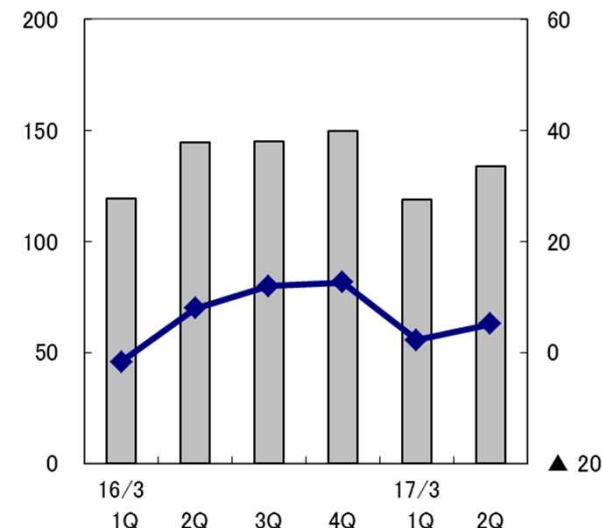


# セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

	2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)				
	16年 3月期	17年 3月期	増減		16年 3月期	17年 3月期	増減		
売上高	東レ	91	80	-10	(-11.4%)	164	149	-15	(-9.0%)
	国内	103	104	+1	(+0.9%)	195	200	+5	(+2.4%)
	海外	27	28	+1	(+3.1%)	62	61	-1	(-1.7%)
	修正	▲ 76	▲ 79	-2		▲ 158	▲ 158	-0	
	計	145	134	-11	(-7.6%)	264	252	-12	(-4.4%)
営業利益	東レ	11	10	-1	(-8.3%)	6	6	+0	(+2.6%)
	国内	2	0	-2	(-93.5%)	4	-3	-7	(-)
	海外	▲ 1	0	+1	(-)	▲ 1	1	+1	(-)
	修正	▲ 5	▲ 6	-1		▲ 3	4	+6	
	計	8	5	-3	(-35.7%)	6	7	+1	(+18.4%)

売上高  
＜棒グラフ＞



営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)

2Q  
(7~9月)

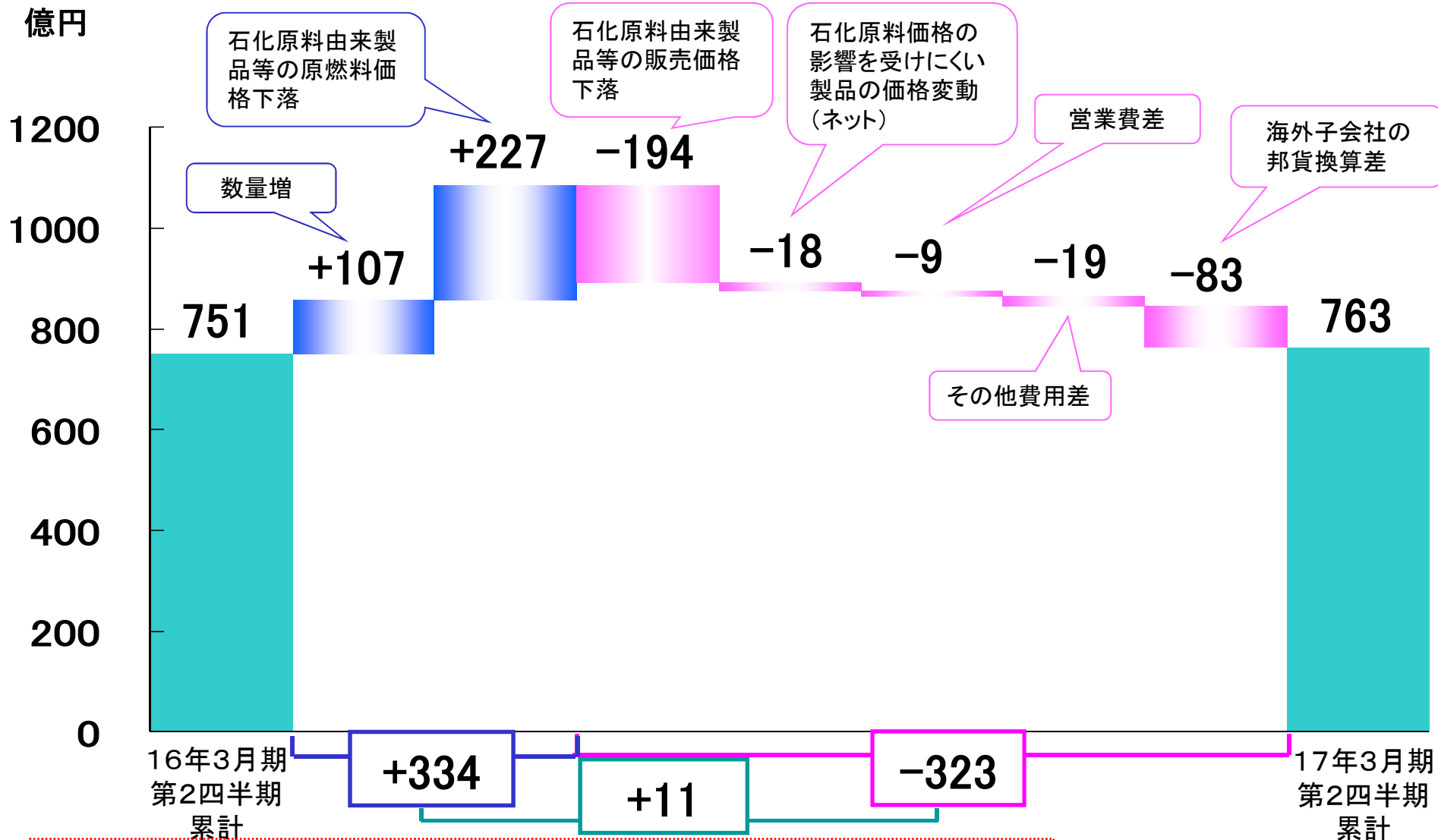
医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ<sup>®</sup>\*が、2015年に取得した効能追加承認を背景に販売数量を伸ばしたが、2016年4月の薬価改定の影響を受けた。天然型インターフェロンβ製剤フェロン<sup>®</sup>や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー<sup>®</sup>の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調に推移。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移。

2Q累計  
(4~9月)

医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ<sup>®</sup>\*が、2015年に取得した効能追加承認を背景に販売数量を伸ばしたが、2016年4月の薬価改定の影響を受けた。天然型インターフェロンβ製剤フェロン<sup>®</sup>や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー<sup>®</sup>の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調に推移。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移。

\* レミッチ<sup>®</sup>は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

# 営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間)



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

# 主要子会社収益状況(第2四半期累計期間)

	売上高			営業利益			億円
	16年3月期 第2四半期累計 実績	17年3月期 第2四半期累計 実績	増減	16年3月期 第2四半期累計 実績	17年3月期 第2四半期累計 実績	増減	
東レインターナショナル	2,789	2,578	-211	55	46	-9	
東レエンジニアリング	309	481	+172	▲3	30	+32	
東レ建設	206	194	-12	1	9	+8	
東レフィルム加工	211	205	-6	5	9	+4	
東レ・メディカル	195	200	+5	4	▲3	-7	
TAK(韓国)	592	526	-66	60	62	+3	
TPM(マレーシア)	349	281	-69	28	22	-6	
在東南アジア・子会社 * 1	繊維	650	561	-89	43	34	-9
	プラスチック・ケミカル	421	348	-73	34	32	-3
	その他	46	40	-5	4	5	+1
	計	1,116	949	-167	82	71	-11
在中国・子会社 * 2	繊維	1,441	1,216	-225	134	117	-17
	プラスチック・ケミカル	414	365	-49	17	19	+2
	その他	128	155	+28	4	10	+6
	計	1,983	1,736	-247	155	146	-9
在外・フィルム子会社 * 3	プラスチック・ケミカル	549	469	-80	36	41	+5
	情報通信材料・機器	312	281	-31	38	34	-4
	計	861	750	-111	74	75	+1

\* 1: ITS、ETX、Istem、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM、TCTI

\* 2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、TIHK、THK-G、TPCH-G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC、TFN

\* 3: TAK、TCK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK、TFN

\* 上記アルファベットは各社の略称、金額は単純合計

# セグメント別営業利益 1Qvs2Q比較

億円

セグメント	営業利益 17年3月期1Q→ 17年3月期2Q ( )内差異	増減益要因
繊維	178→168 (-9)	・円高進行による輸出手取り額の減少や海外子会社業績の邦貨換算差のマイナス拡大。 ・海外テキスタイル子会社の秋冬向けテキスタイル出荷はピークアウト。
プラスチック ・ケミカル	85→74 (-11)	・円高進行による輸出手取り額の減少や海外子会社業績の邦貨換算差のマイナス拡大。 ・原料価格下落に伴う販売価格低下によるスプレッド縮小。
情報通信材料 ・機器	84→75 (-9)	・液晶カラーフィルター製造装置の出荷がピークアウト。 ・高機能回路材料を使用した製品の生産が一段落。
炭素繊維 複合材料	98→63 (-35)	・円高進行による輸出手取り額の減少や海外子会社業績の邦貨換算差のマイナス拡大。 ・サプライチェーンにおける在庫調整の影響。
環境・ エンジニアリング	12→21 (+9)	・水処理事業は、堅調に推移。 ・エンジニアリング子会社は、プラント工事が順調に進捗。
ライフサイエンス	2→5 (+3)	・医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ <sup>®</sup> *の拡販を推進。
その他	▲1→4 (+4)	
調整額	▲47→▲58 (-11)	* レミッチ <sup>®</sup> は鳥居薬品株式会社の登録商標です。
連結	410→353 (-57)	

## Ⅱ. 2017年3月期連結業績見通し

# 2017年3月期連結業績見通し

		16年3月期 実績	17年3月期 見通し	対前年同期比 増減	前回見通し	前回見通し との差異*	億円
売上高	上期	10,286	9,570	-716 (-7.0%)	10,100	-530	
	下期	10,759	11,030	+271 (+2.5%)	11,500	-470	
	<b>通期</b>	<b>21,044</b>	<b>20,600</b>	<b>-444 (-2.1%)</b>	<b>21,600</b>	<b>-1,000</b>	
営業利益	上期	751	763	+11 (+1.5%)	780	-17	
	下期	794	787	-6 (-0.8%)	920	-133	
	<b>通期</b>	<b>1,545</b>	<b>1,550</b>	<b>+5 (+0.3%)</b>	<b>1,700</b>	<b>-150</b>	
経常利益	上期	755	761	+6 (+0.8%)	780	-19	
	下期	747	789	+42 (+5.7%)	920	-131	
	<b>通期</b>	<b>1,502</b>	<b>1,550</b>	<b>+48 (+3.2%)</b>	<b>1,700</b>	<b>-150</b>	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	494	534	+40 (+8.0%)	500	+34	
	下期	407	416	+9 (+2.2%)	550	-134	
	<b>通期</b>	<b>901</b>	<b>950</b>	<b>+49 (+5.4%)</b>	<b>1,050</b>	<b>-100</b>	
1株当たり 当期純利益	上期	30.93円	33.40円				
	下期	25.45円	26.01円				
	<b>通期</b>	<b>56.38円</b>	<b>59.41円</b>				
1株当たり 配当金	上期	6.00円	7.00円				
	下期	7.00円	7.00円				
	<b>通期</b>	<b>13.00円</b>	<b>14.00円</b>				

備考：為替レート的前提は、100円/US\$ (10月以降)

\*前回見通しとの差異：2016年8月5日公表値との差異

# セグメント別業績見通し (売上高/営業利益)

		16年3月期 実績			17年3月期 見通し			対前年同期比 増減			前回見通し との差異*			億円
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	繊維	4,358	4,562	8,920	4,002	4,548	8,550	-357	-14	-370	-198	-52	-250	
	プラスチック・ケミカル	2,572	2,640	5,212	2,367	2,633	5,000	-205	-8	-212	-83	-67	-150	
	情報通信材料・機器	1,250	1,261	2,511	1,286	1,314	2,600	+36	+53	+89	-14	-136	-150	
	炭素繊維複合材料	943	919	1,862	806	894	1,700	-138	-24	-162	-94	-106	-200	
	環境・エンジニアリング <sup>△</sup>	826	1,007	1,833	786	1,214	2,000	-41	+208	+167	-114	-86	-200	
	ライフサイエンス	264	295	558	252	348	600	-12	+53	+42	-18	-22	-40	
	その他	72	75	147	72	78	150	-0	+3	+3	-8	-2	-10	
	連結	10,286	10,759	21,044	9,570	11,030	20,600	-716	+271	-444	-530	-470	-1,000	
営業利益	繊維	350	339	689	346	334	680	-4	-5	-9	-4	-26	-30	
	プラスチック・ケミカル	157	137	294	159	161	320	+3	+23	+26	-11	-9	-20	
	情報通信材料・機器	120	142	262	159	161	320	+39	+19	+59	+19	-9	+10	
	炭素繊維複合材料	186	175	361	160	130	290	-25	-46	-71	-30	-60	-90	
	環境・エンジニアリング <sup>△</sup>	16	80	96	33	77	110	+17	-2	+14	+3	-13	-10	
	ライフサイエンス	6	24	31	7	23	30	+1	-2	-1	+2	-22	-20	
	その他	5	14	20	3	17	20	-2	+3	+0	-2	+2	-	
	調整額	▲ 89	▲ 118	▲ 207	▲ 105	▲ 115	▲ 220	-16	+3	-13	+5	+5	+10	
連結	751	794	1,545	763	787	1,550	+11	-6	+5	-17	-133	-150		

\*前回見通しとの差異:2016年8月5日公表値との差異

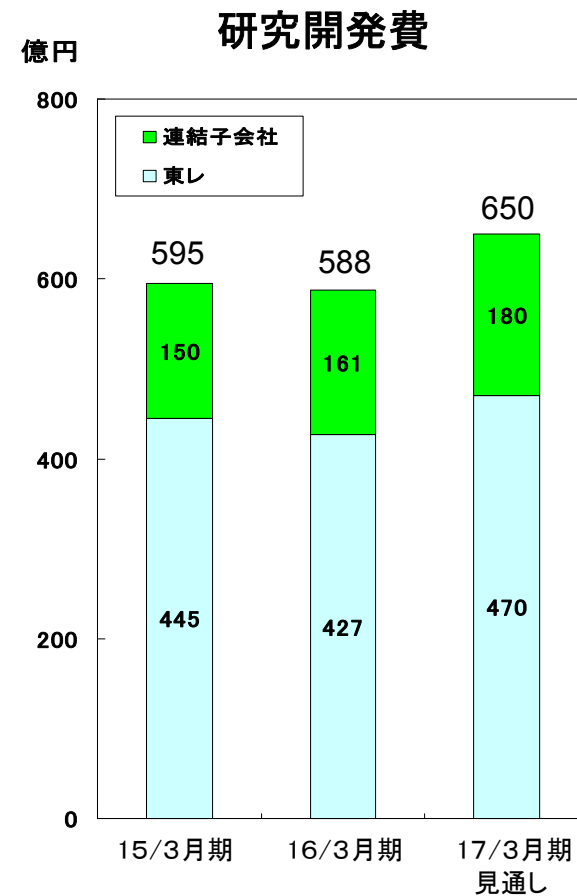
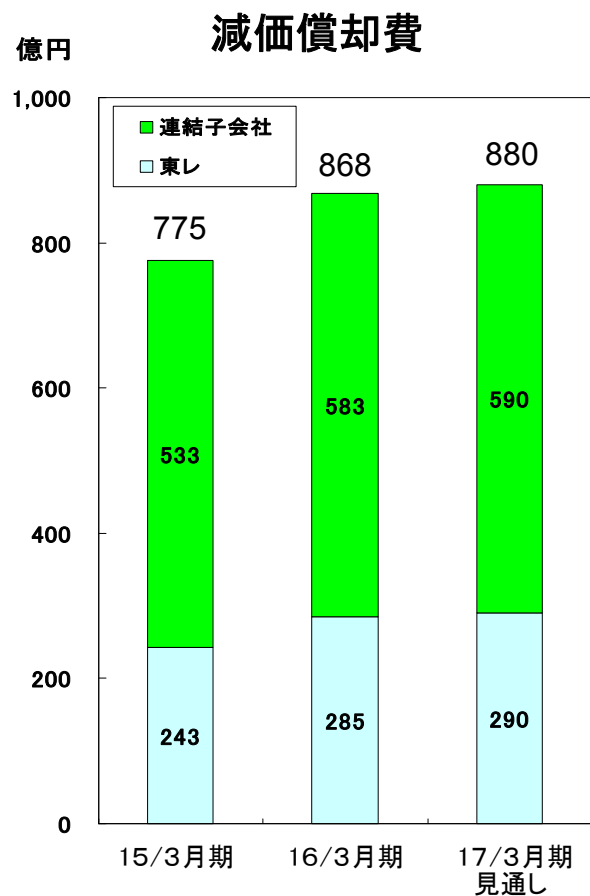
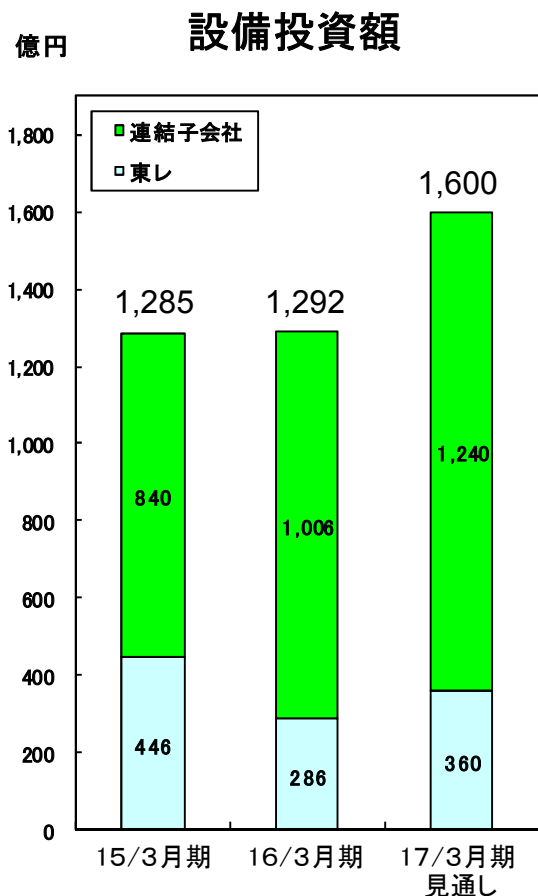
# セグメント別営業利益の前回見通しとの差異

セグメント	通期営業利益 前回見通し→今回見通し ( )内差異	増減益要因
繊維	710→680 (-30)	・円高進行による輸出手取り額の減少や海外子会社業績の邦貨換算差のマイナス拡大。 ・国内の消費低迷や天候不良等の影響により、需要は弱含む見通し。
プラスチック ・ケミカル	340→320 (-20)	・円高進行による輸出手取り額の減少や海外子会社業績の邦貨換算差のマイナス拡大。 ・米国自動車向け需要の弱含み、ABS樹脂等のスプレッド悪化を見込む。
情報通信材料 ・機器	310→320 (+10)	・売れ筋商品の拡販に努めるとともに、高採算品へのシフトとコストダウンに努める。
炭素繊維 複合材料	380→290 (-90)	・円高進行による輸出手取り額の減少や海外子会社業績の邦貨換算差のマイナス拡大。 ・サプライチェーンにおける在庫調整継続を見込む。
環境 ・エンジニアリング	120→110 (-10)	・不動産市況低迷の影響を見込む。
ライフサイエンス	50→30 (-20)	・医薬、医療機器共に拡販の遅れを見込む。
その他	20→20 (±0)	
調整額	▲230→▲220 (+10)	
連結	1,700→1,550 (-150)	

億円



# 設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し



---

**本資料中の2017年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。**

**本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。**

**'TORAY'**

**Innovation by Chemistry**